

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

学校における新型コロナウイルスへの備え

新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出されるなど、未曾有の事態となりました。社会全体が大きな混乱に見舞われている状況ですが、いよいよ新年度の学校生活がスタートしました。4月8日（水）には小・中学校とも新入生を迎え、また、在校生もそれぞれ進級し、これから始まる1年間に大きな期待や希望をもってスタートしたことでしょう。様々な行事等も延期や中止を余儀なくされ、子どもたちの学校生活にも大きな影響が出ていますが、そんな状況の中でも学校生活を仲間とともに楽しんでほしいと願っています。

さて、学校の臨時休業や学校再開に関して、日南小・中学校では、様々な対応を行っていますので、町民の皆さんにも少し紹介したいと思います。

まず、感染防止のために、マスクの着用や検温の実施、3つの密（密閉・密集・密接）を避ける行動や環境づくりが必要となっています。3密を避けるため、子どもたちの机の配置や活動の仕方にもいろいろと工夫しています。また、市販のマスクが入手しにくい状況のため、マスクを忘れた子どもたちのために、先生方やボランティアの皆さんが手作りマスクを作ってくださいました。さらに、先生方は毎日、子どもたちが下校した後、校舎内の消毒作業を行ってくださっています。各ご家庭でも、毎朝の検温や自家用車での送迎等、様々なご協力をいただいております、大変ありがたい状況です。

次に、子どもたちの学習についてですが、臨時休業

期間中には、様々な企業等が子どもたちへの支援としてサービスの無償提供を行っており、本町でもそれを利用してオンライン学習（インターネットを活用した学習）を実施しました。インターネットを通じた遠隔授業を行っている先進的な学校もありますが、本町の状況はといえば、小中学校のおよそ8割程度のご家庭にインターネットに接続できる環境があり、当初の予想以上にオンライン学習の素地が整いつつある状況でした。今後、児童生徒や教職員の中に感染者が出た場合など、状況によっては長期にわたる臨時休業となる可能性もありますので、その際にもオンライン学習ができるように準備を進めています。

今のところ、ウイルス感染対策には予防を徹底するほかありません。今後も様々な対応をお願いすることがあるかと思いますが、ぜひご協力をお願いします。



4月3日 小中学校の先生の消毒についての研修

にちなん子ども応援隊だより No. 84

昨年度ボランティアをして下さった方は、町内外合わせて118名、延べ1,116名でした。たくさんの方々にご支援ご協力頂きまして、本当にありがとうございます。

3月26日に、ボランティア、日南教育委員会、日南小中学校の担当の先生が一同に会しまして、令和元年度最後の協議会を開きました。いろいろなご意見をいただきましたので、そのことをお知らせしたいと思います。

学校

- ・意義がある取り組みだと思っている。
- ・いろいろな人との関わりができ、子どもたちにとっても大切。

ボランティア

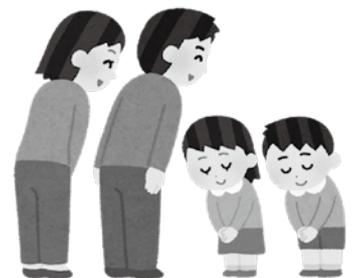
- ・核家族化が進む中、子ども達に大人モデルを見せる少ない機会だと思う。子ども達にとっても大事だと思うが、ボランティアにとっても成長できてお互い良い機会だ。

- ・新型コロナウイルス対策としての休校措置が決定した前日に下校見守りをしていたとき、多くの児童生徒が休みを楽しみにしておらず、いかに彼らにとって学校が楽しみかということが分かった。

教育委員会

- ・令和4年度よりコミュニティ・スクールという制度を導入する予定であり、今後、地域の皆さんの協力がますます必要になってくる。ぜひご支援ご協力をお願いしたい。

にちなん子ども応援隊の活動に興味・関心がある方、体験してみたい方、気軽にご連絡ください。



連絡先…日南町教育委員会(82-1118)

